　仮貯蔵・仮取扱い実施計画書（例）（形態例①ドラム缶等による燃料の貯蔵及び取扱い）

【別添１－１】

保有空地の周囲にバリケード（ロープを張り）空地を確保する。

保有空地６ｍを確保する。

１　仮貯蔵・仮取扱い詳細レイアウト

高温になることを避けるため、通気性を確保した日除けを設置

貯蔵場所

・取扱場所に置くドラム缶は１本のみとする。

・長時間炎天下にさらされないように配慮する。

・通気、換気のよい場所で実施する。

６ｍ

６ｍ

第５種消火設備を３本設置する。

取扱場所

６ｍ

６ｍ

３ｍ

約２０㎡

６ｍ

携行缶

約２０㎡

取扱場所と貯蔵場所を離し６ｍの離隔距離を確保する。

200リットルの金属製容器（ドラム缶）にて貯蔵する（最大15本）。

ドラム本体だけでなく、給油に使用するドラムポンプ等からもアースを確保する。

消火器

６ｍ

６ｍ

２　標識・掲示板（例）※　標識・掲示板を設置し関係者に注意喚起を行う。

・大きさ、縦30ｃｍ以上、幅60ｃｍ以上（縦書きでも可）

・「火気厳禁」は、地は赤色、文字は白色

・「危険物仮貯蔵・仮取扱所」は、地は白色、文字は黒色

**危険物仮貯蔵・仮取扱所**

危険物の類・品名・数量（倍数）

・第４類　第１石油類　ガソリン

３，０００リットル（１５倍）

管理者　○○　▽◇○

火気厳禁